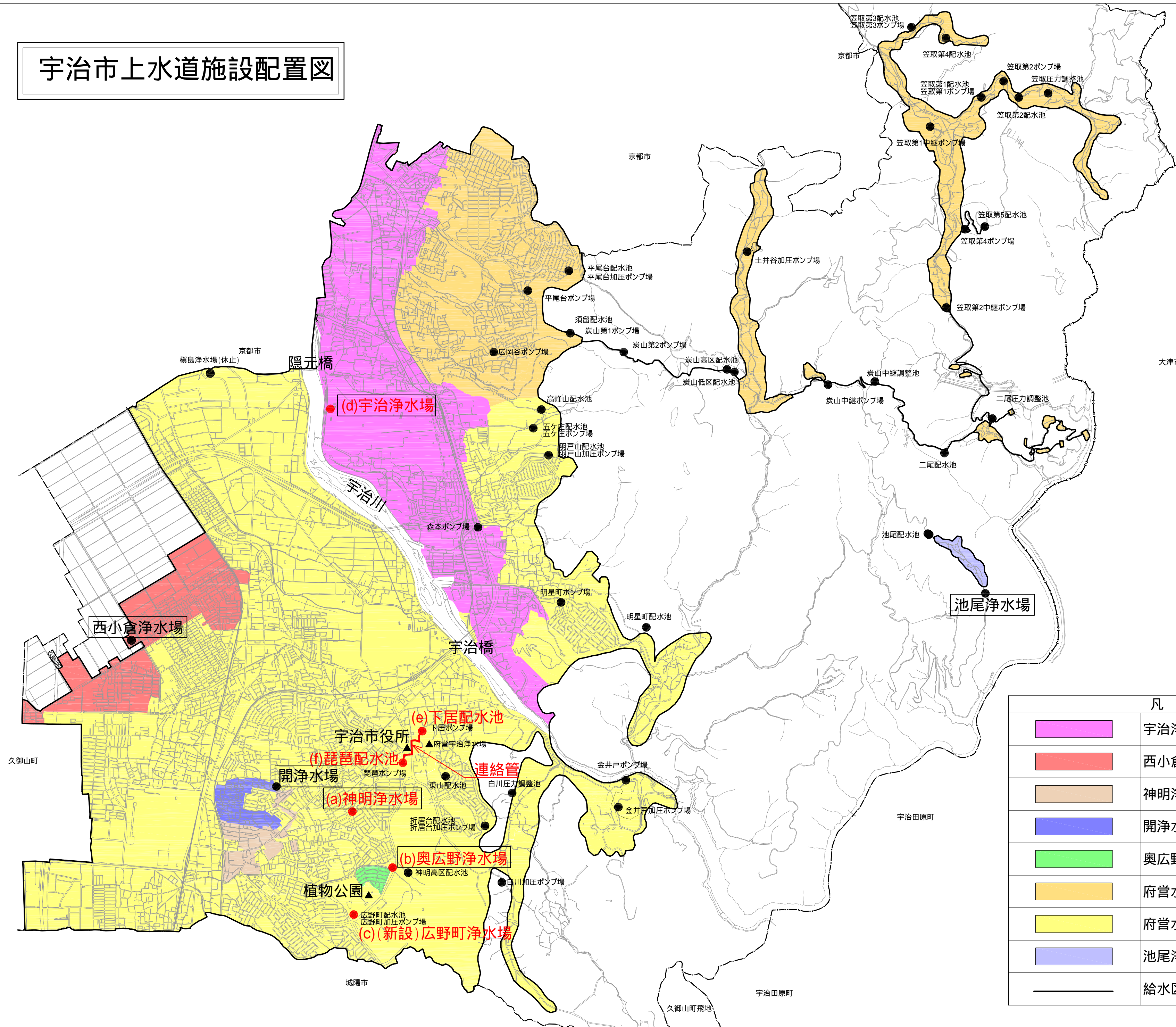
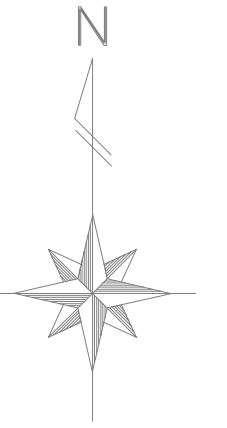


宇治市上水道施設配置図



凡 例	
	宇治浄水場配水区
	西小倉浄水場配水区
	神明浄水場配水区
	開浄水場配水区
	奥広野浄水場配水区
	府営水、宇治浄水場混合配水区
	府営水配水区
	池尾浄水場配水区
	給水区域

浄水場統廃合事業の概要について

1. 事業目的

本事業は、浄水場の効率的な施設運用を図るため、広野町配水池内に新たな浄水場を整備し、老朽化した神明浄水場(昭和19年竣工)および奥広野浄水場(昭和45年竣工)の統廃合を行うものです。

2. 事業概要

- (1) 広野町配水池内に、深井戸による取水施設および浄水施設を整備
- (2) 奥広野浄水場内に、深井戸による取水施設を整備
- (3) 導配水施設を整備

3. 工事概要

- (1) 期間：平成29年度から令和3年度
- (2) 概算事業費：約8億円
- (3) 施設能力

広野町配水区域拡張後の計画1日最大給水量：約7,300m³/日
 新浄水施設能力：2,200m³/日

(4) 施設概要

- 1) 取水施設：深井戸2本

広野町配水池内：1本

奥広野浄水場内：1本

- 2) 導配水施設

導水管： 150mm L = 約600m

配水管： 150mm L = 約400m

- 3) 浄水施設

薬品注入室、着水井、急速ろ過機、排水池、天日乾燥床、電気設備

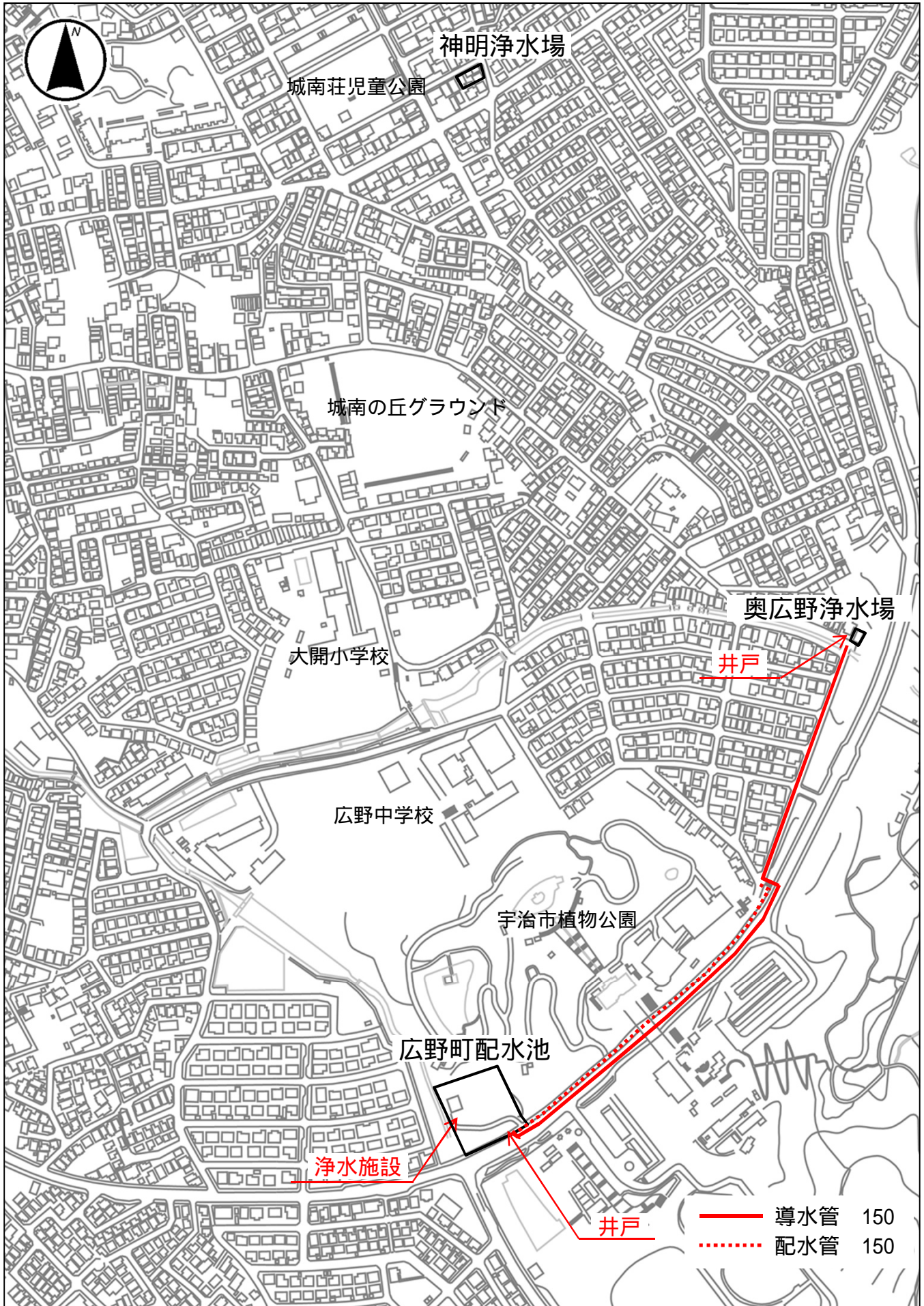
- 4) 浄水工程

井戸より取水した原水は着水井に集められ、塩素剤および凝集剤を注入した後、急速ろ過機で処理し広野町配水池に送水されます。ここで府営水と混合され、広野町配水区域に給水されます。

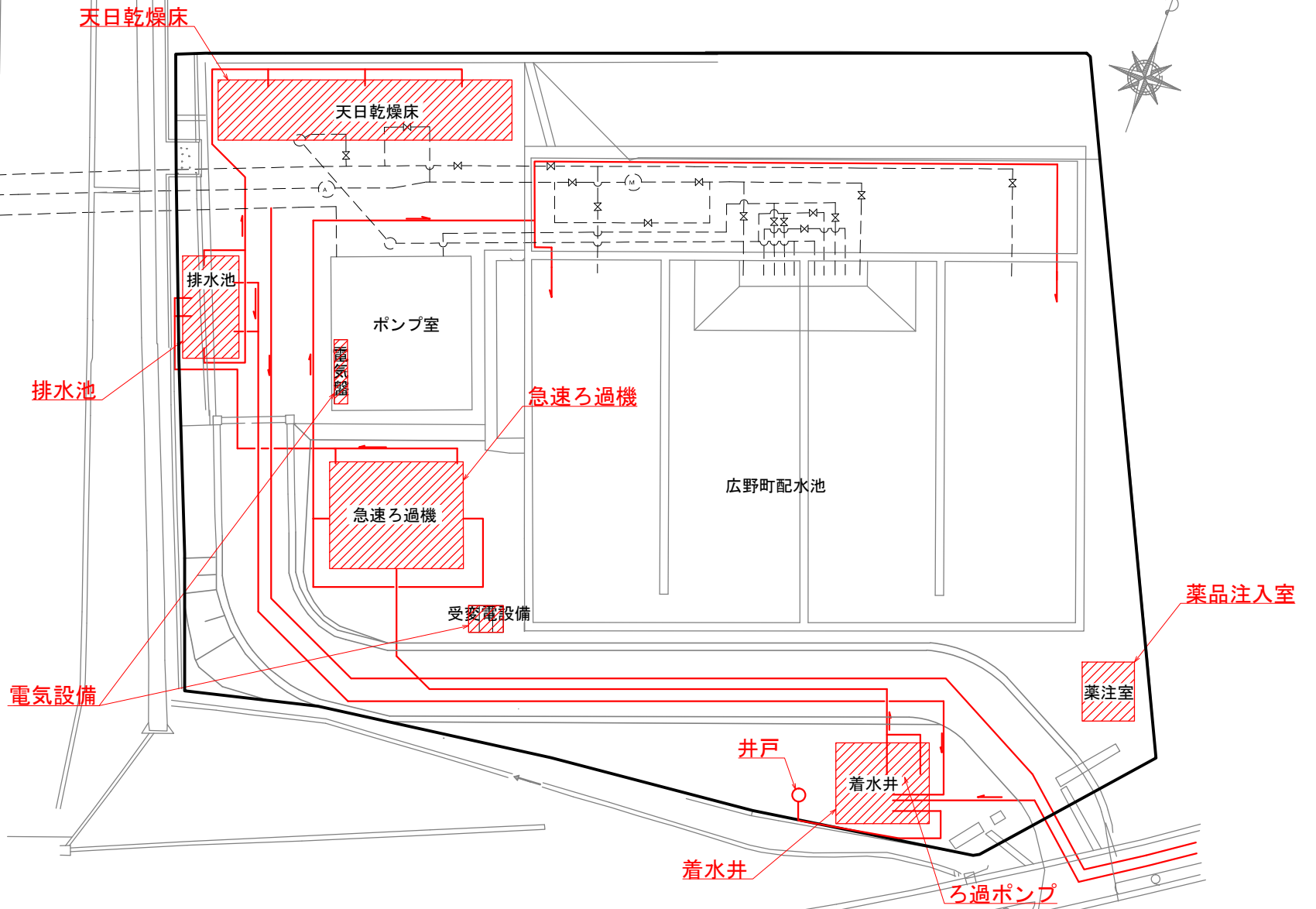
4. 工事工程表(予定)

工 種	H29	H30	R1	R2	R3
取水施設					
導配水施設					
浄水施設					

位置図



配置予定図



宇治浄水場施設整備事業の概要について

1. 宇治浄水場の経過

本浄水場は、昭和25年に旧陸軍の軍用水道施設を転用して市内一部に給水を開始し、昭和36年に当時の大蔵省から施設の無償移管を受けています。その後、昭和52年に全面改修を行い、順次給水区域を拡張し現在に至っています。

2. 宇治浄水場の現況

本浄水場は、本市自己水源の約75%を占める基幹施設であり、東宇治地域の安定した給水を図るため極めて重要な施設です。しかしながら、耐震診断の結果、補強が必要な施設があり、加えて、昭和52年の全面改修以降、約40年近くが経過していることから、機械や電気等の設備は老朽化により全面的な更新が必要な状況にあります。

3. 事業の目的

施設の耐震補強や老朽化した設備の更新等を実施することにより、施設の強靱化及び健全化を図るものです。

4. 現在の施設概要

(1) 水源：井戸(5本)及び宇治川伏流水

(2) 施設能力：20,700m³/日

(3) 浄水工程

井戸及び宇治川伏流水より取水した原水を着水井に集め、順次、脱炭酸槽、薬品沈澱池、急速ろ過機の各施設で処理され、浄水池に貯められます。その後、浄水池から送水ポンプにより、配水池に送水されます。

5. 事業概要

(1) 期間：平成28年度から令和5年度

施設の耐震化は令和元年度に完了予定

(2) 概算事業費：約30億円

(3) 工事概要

着水井、脱炭酸槽

コンクリート劣化面補修及び防食・防水塗装工事、設備更新工事

薬品沈澱池

耐震補強工事、コンクリート劣化面補修及び防食・防水塗装工事

設備更新工事

浄水池

耐震補強工事、コンクリート劣化面補修及び防食・防水塗装工事

ろ過池

急速ろ過池築造工事

4号井戸

更新工事

汚泥処理電気室

耐震補強工事、設備更新工事

電気設備

更新工事

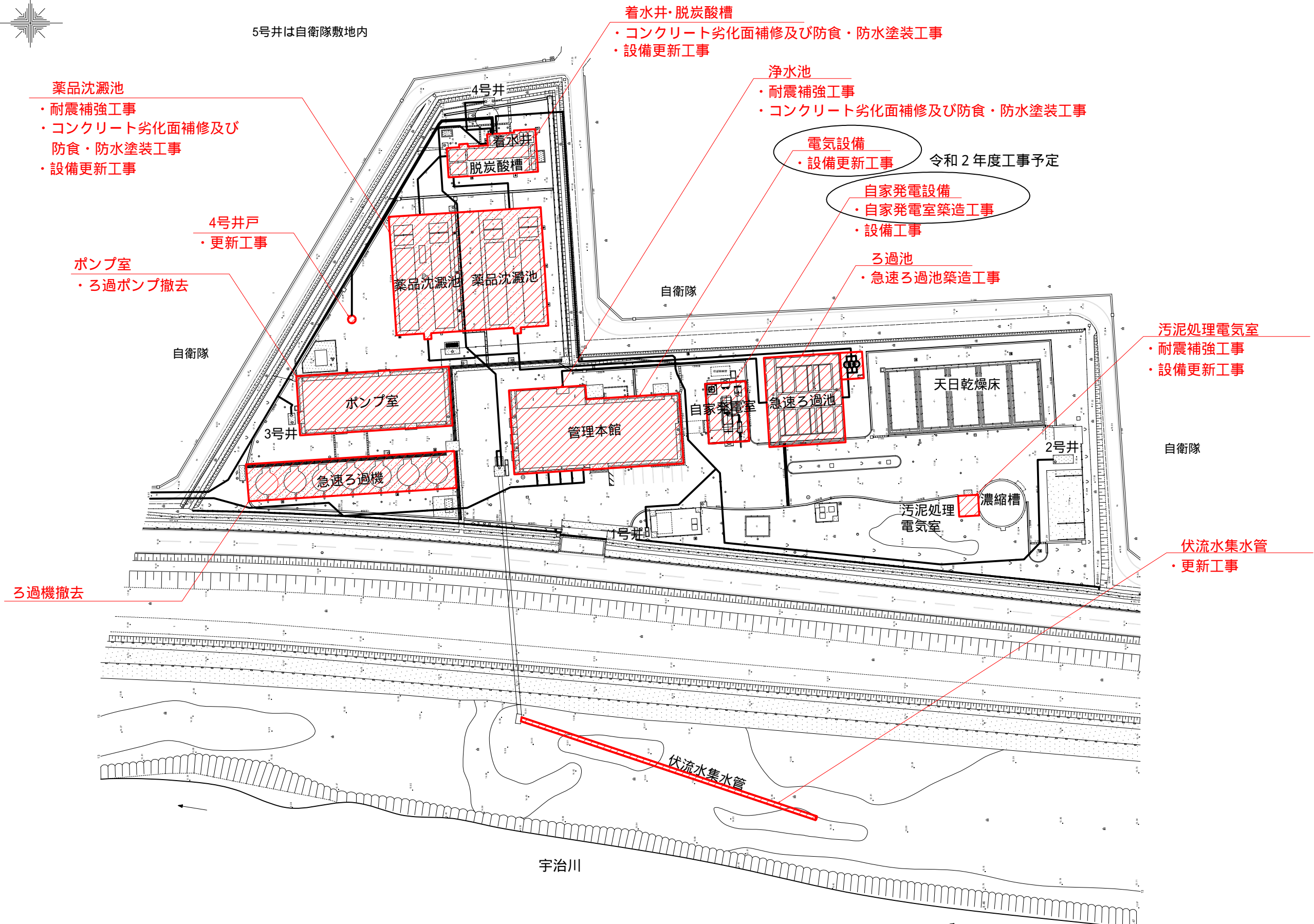
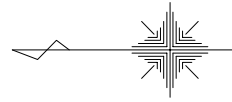
自家発電設備

自家発電室築造工事、設備工事

伏流水集水管

更新工事

計画図



下居配水池と琵琶配水池の連絡管工事の概要について

1. 工事目的

本工事は、地震等災害時にも被害を最小限に食い止め、一定量の給水を確保するため、下居配水池と琵琶配水池を繋ぐ連絡管を更新・耐震化するものです。

2. 工事概要

(1) 期間：平成30年度から令和2年度

(2) 概算事業費：約11億円

(3) 内容

小口径シールド工 1200 L = 約400m

小口径内管布設工 700 L = 約400m

